

## パネル2 モデレーター・報告者略歴

モデレーター

### 齋賀 富美子（外務省人権担当大使・女子差別撤廃委員会委員）

東京外国語大学卒業後、外務省入省。国連代表部公使、埼玉県副知事、シアトル総領事、国連代表部大使を経て、2003年より現在まで在ノルウェー・アイスランド大使、2005年より現在まで人権担当大使。また、2001年より現在まで、女子差別撤廃委員会委員。

報告者

### 安藤 仁介（京都大学名誉教授・前国連自由権規約委員会委員・委員長）

京都大学法学部卒業、同大学院からフルブライト奨学生として米国フレッチャー・スクールにて博士号取得。神戸大学教授、京都大学教授、同志社大学教授を経て現職。1987-2006年まで20年間、国際自由権規約委員（1993-1994年同委員長）を務める。（財）世界人権問題研究センター理事長。

報告者

### 大谷 美紀子（弁護士・国連総会第3委員会日本政府代表代理）

上智大学法学部国際関係法学科卒業、コロンビア大学国際公共問題大学院修士課程修了（人権人道問題専攻）、東京大学法学部政治学研究科修士課程専修コース修了（国際法）。国際人権法学会理事、日本女性法律家協会前副会長、日本弁護士連合会国際室室長、同国際関係問題委員会委員。

報告者

### 目黒 依子（上智大学総合人間科学部教授・国連婦人の地位委員会日本代表）

ウエスタン女子大学、東京大学大学院社会学研究科、ケイス・ウエスタン・リザーブ大学大学院修了。社会学博士。1971年より上智大学専任講師、助教授を経て1983年より教授。専門は社会学、ジェンダー研究。著書に『女役割一性支配の分析』『個人化する家族』『少子化のジェンダー分析』など多数。第49・50回国連総会日本政府代表代理。1997年より国連婦人の地位委員会日本代表。

報告者

### 横田 洋三（中央大学法科大学院教授・国連大学学長特別顧問・国連人権小委員会委員）

1940年ニューヨーク生まれ。国際基督教大学卒業。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了（法学博士）。世界銀行法律顧問、国際基督教大学教授、アデレード大学客員教授、ミシガン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、東京大学教授を経て現在中央大学法科大学院教授。同時に国連大学学長特別顧問、国連人権小委員会委員、国際労働機関（ILO）条約勧告適用専門家委員会委員を兼ねる。専門は国際法、国際機構法、国際人権法、国際経済法。著書に『国際法入門』（共著、有斐閣）ほか多数。